

市民と野党の共闘 力示す

当選を果たした馬淵すみお氏 11月31日



奈良1区 野党統一候補
馬淵すみお氏が勝利

10月31日投開票で行われた総選挙で、奈良一区で野党統一候補として戦った馬淵すみお氏が、93,050票(得票率 38.9%)を獲得。自民・小林氏らを破って見事当選をかちとりました。

「野党は共闘」の市民の訴えに応じて日本共産党と立憲民主党の間での統一候補が実現し、今回の当選につながりました。結果を受けて、11月1日、奈良一区市民連合の佐川愛子事務局長が、「市民参加型の選挙 最後の最後まで粘りました」との談話を寄せています。(要旨は2,3面)

国賠同盟も尽力

総選挙の最終盤10月27日、日本共産党の街頭演説会で野党統一候補馬淵すみお候補が「国民の命と暮らしを守ること、それが政治の本来の使命です。消費税を、5%にせよと訴えてきたが、消費税減税が野党の共通政策になりました。」と訴えました。

選挙戦を戦うにあたって、国賠同盟奈良県本部は、「統一候補が実現した場合、その候補の当選を目指し全力を挙げる」との確認に基づいて、田辺県本部会長は馬淵候補の事務所を訪ね檄文を渡し、要請文を届けていました。



奈良県版

No. 346

2021年11月15日

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
奈良県本部
〒630-8442
奈良市北永井町 277-3
田辺実気付
☎ 0742-61-7194
振替 0990-2-209460
治安維持法国賠同盟
奈良県本部

われわれの 運動の基本

- ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために
- 一、治安維持法体制の復活に反対する
- 二、国は、治安維持法が人道に反する悪法であつたことを認めること
- 三、国は、治安維持法犠牲者に賠償を行うこと



日本共産党の街頭演説で演説するまぶち候補。左は山添拓参議院議員、右は井上良子県議候補=10月27日

多くの皆さんの支援と活動の成果です。皆さん方がどれ程頑張られたか、「政治を変えよう」とどれ程熱い思いで選挙戦に臨まれたか、本当に本当に感謝しても尽きません。

政権選択を求める総選挙は厳しい選挙でした。その選挙戦で勝利を得たのは、皆さん方の「やれる事をやろう」との主体的で自主的な「自分たちの手で選挙戦を行うおう」という意気込みでした。

馬淵候補に 必勝の檄文

田辺実健会長が事務所を訪問

公示日を翌日に控えた10月18日、急遽中央本部から届いた中央本部増本一彦会長と田辺県本部会長の連名の「必勝の為書」と、治安維持法犠牲者国家賠償法制定国会請願の紹介議員になっていただくことを求めた「要望書」を届け激励し、要請



しました。事務所では、馬淵澄夫氏の秘書・岩井禪（しずか）氏が対応。

田辺会長は、「野党統一が実現して嬉しいです。馬淵さんが必ず勝利できるような、私たちも全力あげます。また、当選した時には、私たちの国会請願の紹介議員になっていただきたいと希望しています。是非馬淵先生にお伝え下さい」と要請しました。岩井氏は、「有難うございます。馬淵さんにお伝えいたします」と応じていただきました。

（写真は、檄を受け取る岩井禪秘書）
2021年10月18日

岩井秘書からお礼の電話

11月3日、岩井秘書から田辺会長宅に、「選挙戦では大変お世話になりました。ありがとうございます。」とお礼の電話をいただきました。田辺会長は、「当選おめでとうございます。国会に請願に伺った時にはよろしくお願いいたします」とお祝いを述べ、国会請願の際にはご協力いただくことを要請しました。

11月1日に寄せられた、奈良一区市民連合の佐川愛子事務局長の談話です。要旨を紹介します。

市民参加型の選挙 最後の最後まで 粘りました

—総選挙を終えて—

奈良一区市民連合 事務局長

佐川 愛子

馬淵澄夫さんが当選されました。9万3050票の支持を得ての勝利でした。奈良一区市民連合は野党統一候補を擁立し、その勝利のために奮闘するとの目的を掲げて活動を進めてきました。10月31日、その目標を達成しました。

私たちは多くの宝を得ました。多くのエピソードが生まれました。

初めてスタンディングに参加、初めての支持の電話かけ、腱鞘炎になるほどの葉書書きなどなど、市民参加型の選挙は、最後の最後まで粘りました。そのエネルギーが野党統一候補を国会に送る事に繋がりました。

小選挙区制度で政権交代は野党共闘しかない

全国的に野党共闘への評価は簡単ではありません。疑問視する声もあります。数の上では立憲野党が後退、自公が過半数を超える議席を確保しました。

しかし、小選挙区での一騎打ちでは、何人もの大物自民党候補者、自民党幹事長をも落選させました。落選させないまでも数百票に追い込むなど多くの選挙区で追い詰めました。野党共闘だったから出たことです。この事は、今までのような政権運営は通用しないことを自公政権に突き付けました。

岸田首相に笑顔はありませんでした。

小選挙区制度で政権交代を行うためには、野党共闘しか方向はありません。様々な課題も見えてきました。それらの課題を克服しながら来年7月に行われる参議院選挙での「市民と野党の共闘」の粘り強い運動を進めていく決意です。

奈良一区市民連合への更なるご支援とご協力をお願いいたします。

短期間での選挙戦でしたが、厳しい激しい選挙戦でした。保守王国奈良一区での勝利は全国の皆さんを大いに励ますでしょう。お礼と感謝を深く深く申し上げます。

◇

奈良2区で宮本次郎氏

奈良3区で西川正克氏が健闘

奈良2区では、宮本次郎同盟奈良県本部青年部長が日本共産党から、2万3285票（得票率10.6%）を立候補獲得、また、奈良3区では国賠同盟員の西川正克氏も日本共産党から立候補、3万4334票（得票率18.2%）を獲得。それぞれ大健闘しました。

※会費納入と募金への協力へのお礼

10月に入って、2021年度の会費の納入と活動強化募金をお願いしたところ、

早速多くの会員から会費と募金が寄せられています。また、平群町、大和郡山市、香芝市、奈良市など、集金の体制が整って

いる地域や職場では対面での納入が始まっています。

早速納入していただいた方には、心からお礼申し上げます。また、まだの方は、是非年内には納入していただくようお願いいたします。

国賠同盟奈良県本部

講演会「不屈の家族 林家の人々」に是非ご参加を

「不屈」奈良県版特別号(2021・7・15)で、「林直子・友雄姉弟が語る 林家の人々」が掲載され、反響を広がっています。この特別号発行を記念して、講演会「不屈の家族 林家の人々」が行われます。

多くの皆さんの参加を呼びかけます。

とき 12月4日(土) 午後1時開場 開会1時半～
ところ 奈良県社会福祉総合センター第3会議室(6F)
(近鉄橿原線「畝傍御陵前」駅下車、東出口徒歩3分)

内容
講演 「不屈の家族・林家の人々」 林 友雄さん
林 直子さん
「林家の人々」について 田辺 実さん

主催 橿原市民団体連絡会／子どもと教科書ネット21

※自公政権との闘いの重要な柱

国賠同盟の署名推進を

国賠同盟の請願署名と、法務大臣などに宛てた「旧奈良監獄」を高級ホテルにしないでください」との署名を、「不屈」8月号に織り込むとともに、10月初めには、会費納入の要請とあわせ、二つの署名推進を呼びかけました。

これに応え、11月1日までに、35名から県本部へ199(前月比120プラス)筆の国会請願署名が届けられています。

国賠同盟の署名は、「再び戦争と暗黒政治を許さない」ことを目指す、自公政権との闘いの重要な柱の一つです。総選挙が

終わったいま、来年の5月の国会請願めざし全会員が日常の生活・活動のなかで、10筆20筆を集めるよう呼びかけます。

※「旧奈良監獄」を高級ホテルにしないで「の署名の推進を

同盟県本部は、国会請願署名とあわせ、「旧奈良監獄」を高級ホテルにしないでください」と呼びかけた署名運動を本格的にすすめています。

11月1日現在、県本部に146筆(県内120、県外26)が寄せられています。

この署名運動では、治安維持法犠牲者の顕彰事業が位置付けられており、「旧奈良監獄」保存・活用での政治犯の事績の常設展示実現めざして運動をすすめている国賠同盟にとっても重要な意義をもつものです。県同盟の要請に応え、中央本部も全国的に署名の推進をよびかけています。近畿ブロック各府県にも署名用紙を届け、協力を求める措置をとりました。引き

続き、全国の同盟、「奈良刑務所物語」の購読者にも用紙を送り協力を求める取り組みを行います。

県同盟では、系統的に署名運動を呼びかけ、当面1千筆を目標に取り組んでいます。

川柳

奈良の愚僧

宝くじ南無阿弥陀仏と坊主買う
もう十分声を掛けないであの世では
大和郡山支部 杉本英雄
成さずとも希望残した総選挙
劇場型選挙テレビがお膳立て
天高く馬肥える秋ほな行こか

「治安維持法と現代」誌秋季号

2021年秋季号には、奈良県から溝川悠介県本部顧問の「戦前大阪外語社会科学研究会弾圧事件の資料調査と公開を求める運動―父良治の事例―」と題する論文と、田辺会長「旧奈良監獄保存・活用」は史料館として活用を」と題する論文が掲載されます。

溝川氏の論文は、大学関係者の治安維持法犠牲者の事績の調査・研究・顕彰活動の全国的な交流ネットワークの結成を呼びかけるものであり、反響を呼ぶことが期待されます。

二つの論文は、県本部が取り組んでいる課題の推進に寄与するものであり、広く普及し活用を呼びかけます。

奈良県から2つの論文が



『奈良刑務所物語—治安維持法で
囚われた人々』の刊行に携わって—

2021年10月

はじめに

昨年末、新版『奈良刑務所物語 治安維持法で囚われた人々』（治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟奈良県本部・編）が刊行

らに資料が蓄積されて、今回は194ページと大幅に充実されました。

2010年11月12日、それまでの奈良教育大学付属図書館での『特高月報』の閲覧・検索を中心にした調査活動から、奈良県立図書館情報館における戦前のマスコミのマイクロフィルムによる閲覧・検索を含め関連する文献資料の系統的な調査・研究をすすめるため、調査部を確立して昨年2月までに、通算73回の部会を行い、資料の蓄積・検討を重ねてきました。昨年2月以降は、確保された資料等の整理編集作業をすすめる12月末の出版にこぎつきました。

『奈良県の治安維持法犠牲者名簿』の姉妹編

この『奈良刑務所物語』は、5年前に刊行した『奈良県の治安維持法犠牲者名簿』の姉妹編であります。今回刊行された『奈良刑務所物語—治安維持法で囚われた人々—』は、7名の調査部員が6年かけて諸資料文献を検索して確保された資料が反映

されました。この刊行にたずさわった6名（2021年現在）の県調査部員にリレー投稿をお願いしてきました。私は、一人の調査部員として、また県本部の会長として、編集に携わってきた者の一人として、この「リレー投稿」に加わらせて頂きます。

新版の『奈良刑務所物語』は、作家・寮美千子さんらのご協力も得て、従来の『奈良刑務所物語』を一新して、京奈和情報教育情報出版株式会社から発売され、アマゾンでも市販されるルートが確保されました。仲間内にとどまらず広く普及されることで、反響が広がるのが期待されました。一年近くたって、大和郡山市、橿原市、桜井市、生駒市など県下の7つの公立図書館で所蔵閲覧に供されているように、期待通りに普及されていることを喜びたいします。

平和と民主主義守る戦い励ます

されていますが、執筆者として協力していただいた方は23名（内故人8名）、データの入力協力者は2名であります。

この新版『物語』には、奈良刑務所に治安維持法等弾圧法規にもとづいて収監された138名の事績が記されています。しかし、奈良刑務所に限っても、実際に収監された先人はもっと多いと推測されています。実際、本書刊行まもなく、奈良県戦後史研究会事務局の岡田雅一氏によって、甲谷松太氏ら「占領期に判明分だけでも18人が投獄された」（「不屈」奈良県版8月号）ことが指摘されています。岡田氏は、「戦後の獄中の抵抗は多くが詳細不明でしたが、最近、甲谷氏の獄中記や獄中書簡など得難い一級の極めて興味深い生史料が多数発見されました。」と述べています。

収監された人々の事績の調査も、一部の人を除いて緒に付いたばかりです。収監された人々の公判記録の検索・収集の作業は全く手についていません。

困難を極める獄中で、知恵と工夫をこらし懸命にたたかった先人の記録は感動を呼び、権力の理不尽な人権侵害・虐待に対して強い怒りを巻き起こすでしょう。菅政権による日本学術会議の任命拒否にみられる学問、思想・信条の自由への攻撃がなされるなか、治安維持法下、先人の命を賭した闘いに学び、今日の平和と民主主義をももる闘いをあげます、時宜にかなった書籍の出版になりました。

県同盟創立45年間の活動が土台に 国賠同盟奈良県本部が45年前に奈良支部として発足して以来、蓄積されてきた資料が土台となっています。奈良における治安維持法犠牲者名簿の作成を思いあって、奈良教育大学付属図書館で『特高月報』の閲覧を開始してから12年の歳月を経ました。6年前に『奈良刑務所物語』

として出版しましたが、その後

今後は、この新刊『物語』を広く研究者、そして関心をもたれている多くの方にも目を通していただき、ご批判、ご教示いただき、さらに充実したものに発展させたいと希望しています。この機会に、①新版の到達度とその構成、執筆協力者、②感動を呼び、怒りを巻き起こす内容の特徴、③さらに充実した『物語』にするための今後の課題、④旧奈良監獄の保存活用の方針などについて検討することが必要と考えています。（つづく） 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟奈良県本部会長

署名数・会員数の到達

団体署名 七(前月比増減なし)
個人署名 一九九(前月比プラス二〇)
会員数 四一三名
(前月比一名減)(一名死亡)
旧奈良監獄署名 一四六(前月比八五増)

奈良NHK裁判大阪高裁

控訴審

次回口頭弁論は12月7日

奈良NHK裁判大阪高裁
控訴審第3回口頭弁論が、
10月19日(大阪高裁202
号大法廷で行われました。

この日は、控訴人訴訟代
理人・白井啓太郎弁護士が、
西土彰一郎教授(成城大学)
の論文「国民の知る権利と
番組編集基準をめぐる憲法
訴訟に基づいて主張の補充
の意見陳述をしました。

この日、白井弁護士は、
「放送法4条1項各号に定
める放送内容に関する義務
について、個々の受信契約者
に対して具体的な権利性を
認めると、NHKの番組編集
の自由の制約となる」という
原判決に対し、「番組編集準
則違反が問題になる場合、
原告らの個人的価値観では

なく、通常の判断能力を持
つ国民一般の理解や価値
観、期待を基準とすべきで
あり、この基準によれば、
NHKの放送番組編集の自
由を著しく制約することに
はならない」と反論・主張
しました。

また、今後の進行協議で
は、控訴人らは田島泰彦教
授(憲法、メディア法、早稲
田大学非常勤講師)の意見
書提出を予定。裁判所は、
それを確認の上、口頭弁論
を開くよう要請した結果、
第4回口頭弁論が12月7
日(火)10時30分に開か
れることが決まりました。

この日、衆議院議員選挙
公示日と重なる中、愛知、
滋賀、大阪、兵庫からの参
加者を含め合計26名が傍
聴しました。

編集後記

10月31日の行われた総選挙では奈良一区で、野党統一候補の馬淵すみお氏が見事当選を果たしました。市民連合と野党の一致した取り組みの重要な成果です。

国賠同盟も奈良市民連合の一員として、同氏の当選をめざし全力を挙げて闘いました。また、2区では県同盟青年部長の宮本次郎氏が、3区では同盟員の西川正克氏が出馬・健闘しました。

全国的には、期待していた結果を得ることが出来ず、残念な思いは残りますが、市民と野党の一致した闘いによって、今後につながる成果と教訓をもたらしました。

衆議院全体では、自民党が議席をへらした一方、維新が議席を増やしたため、自民、公明、維新など改憲勢力が3分の2を超える議席を確保したことから、憲法9条を守る闘いは一層重要になってきました。

県同盟は全国の民主団体と一体となって、改憲策動を許さない闘いを引き続き全力で奮闘する決意です。

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟奈良県本部常任理事会